

会社名	業種	社員数	取組の背景・目的	取組の内容	取組の効果
西日本旅客鉄道株式会社	運輸業	26,500人	<p>多様な働き方を尊重し、一人ひとりがいきいきと働き、最大限活躍することができる環境を整備し、ワークライフバランスや生産性向上を図るためにテレワーク制度を導入。</p>	<p><導入の変遷> 2017.2 試行を開始 2019.10 テレワーク制度導入</p> <p><制度概要></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆対象者 間接部門社員 （コロナ禍において全社員に拡大中） ◆就業時間 在宅勤務は8時～20時の範囲内において利用可能 （PCログによる労働時間管理を実施） ◆利用制限 在宅勤務は週に3回まで （コロナ禍において制限を撤廃中） <p><利用促進></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆テレワーク活用方法に関するeラーニングを実施 ◆社内誌において好事例を連載 ◆コミュニケーションツールの充実 ◆オフィスのフリーアドレス化 	<ul style="list-style-type: none"> ◆コロナ禍において、BCP対策としての役割を果たし、大きな混乱を招くことなく、業務遂行できる体制を整えられた ◆約9割の社員が、通勤時間の削減によるメリットを感じており、約5割が仕事に集中しやすいと回答。（2020年6月実施のアンケートより） ◆コアタイムのないフレックスタイム制との組み合わせにより、ワークライフバランスの充実に貢献 ◆WEB会議の利用促進もあり、出張数がコロナ禍以前と比較し半減